

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 守口市  
 実践研究校名 守口市立庭窪中学校

【公開授業】公開日：平成25年9月12日

対象学年：3学年

(教材・教科書名) NEW HORIZON3 (单元名) Speaking +1	(本時の指導の目標) 会話がスムーズに進むように、これまでに学んだ英語を使って表現を工夫する。 努力目標：声に出して英語のコミュニケーションを楽しもう
---	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・チャンツを繰り返し練習して表現に慣れ親しむためにリズム読みを行う。
- ・グループ活動をスムーズにするためのワークシート
- ・題材を身近なもの【今年の夏上映の映画】に設定し、生徒の意欲を喚起する。

(授業後の振り返り)

- ・生徒が「いきいき」コミュニケーションできることを目標にしている。
- ・英語ざらいにしないような雰囲気作りを大切にしている。(全員参加・自分から)
- ・コミュニケーションを活性化するために(学級)集団の力を高めることが大切である。

【研究協議】

(テーマ) つなぐ・つながるコミュニケーション活動	(指導・助言者) 大阪商業大学 総合経営学部 講師 吹原 顕子 先生
------------------------------	---

(研究協議で出された意見)

- ・最初(ウォーミングアップ)が肝心
  - ・導入部分での決まり文句 → 子どもが手を挙げやすい(自信をもたせる)
  - ・小学校から取り組み、中学校へつなげる。
- ・十分な活動量を保障する。(問答において正しく答えられなくてもよい。)
- ・英語でコミュニケーションをすることの意味を考える  
 →英語そのものが話せることよりも、英語を学んだ先にある楽しさ、うれしさ

(結論又は要約)

◎外国語活動において、小中連携を展開するための具体的な手立てについての考察

- ・どの校区でも「同じことを学ぶ」ことが大切
  - ①指導の方法について
  - ②カリキュラムの作成
- ・(外国語活動)担当者から他の教職員へ広げるための具体策
  - ・入門期のシラバス(あいさつ・身の回りの単語の扱い、発音、文字の書かせ方)  
 →シラバスがあるから、やってみよう、やらなくてはいけない、という雰囲気づくり